

令和5年度 学校評価アンケート結果

学校評価アンケート結果（生徒、保護者、職員）回答数及び回答率

	回答者	在籍	回答率
生徒（全学年）	318名／370名（85.9%）令和5年度		
	326名／426名（76.5%）令和4年度		
	533名／559名（97.7%）令和3年度		
	595名／683名（87.1%）令和2年度		

保護者（全学年）	138名／370名（37.3%）令和5年度		
	163名／426名（38.3%）令和4年度		
	337名／683名（49.3%）令和3年度		
	337名／683名（49.3%）令和2年度		

職員	49名／49名（100%）令和5年度		
	49名／51名（96.1%）令和4年度		
	48名／48名（100%）令和3年度		
	51名／51名（100%）令和2年度		

開かれた学校づくり委員 8名

千葉県立鎌ヶ谷西高等学校

令和5年1月26日（金） 開かれた学校づくり委員会

令和5年度 鎌ヶ谷西高校アンケート(職員)

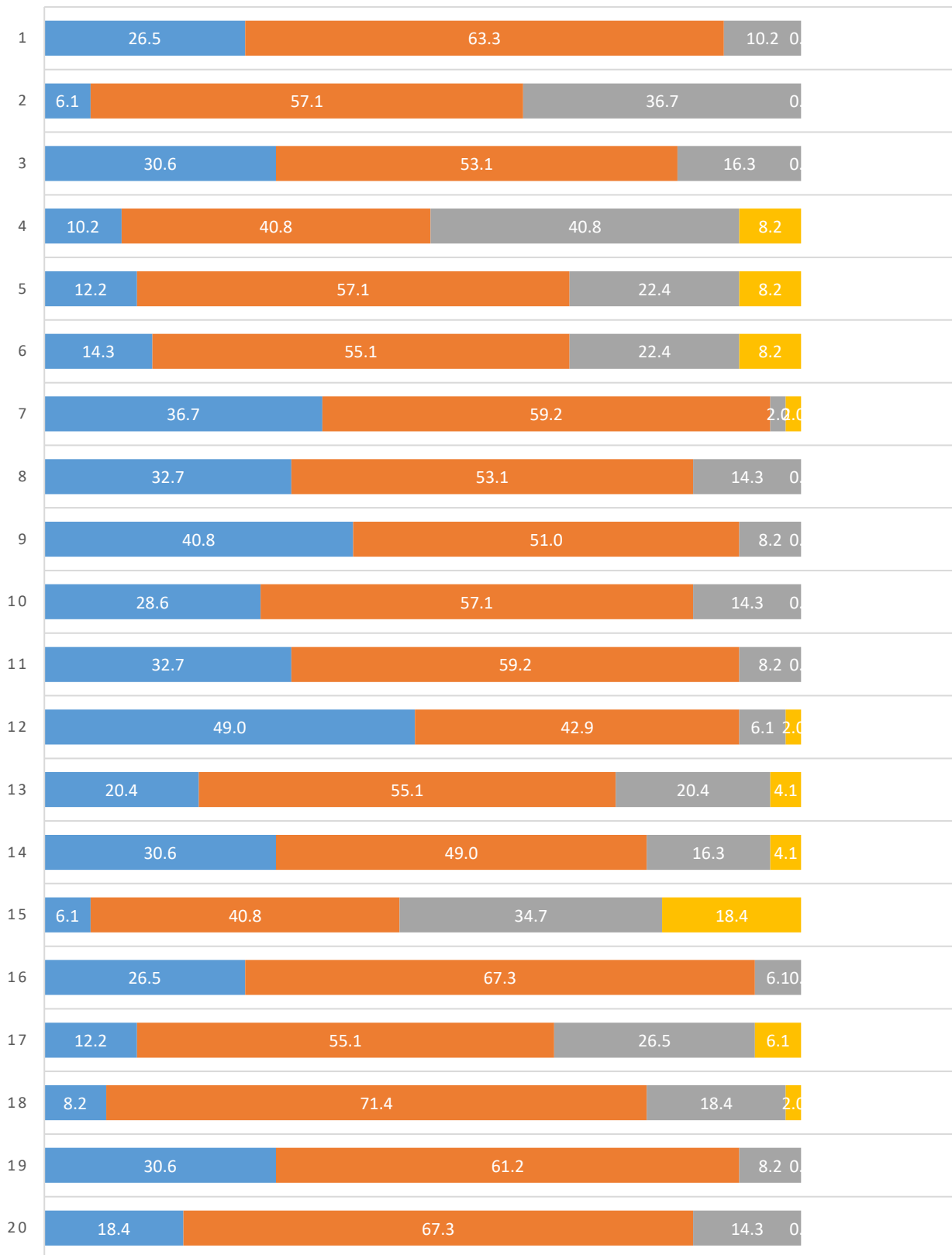
- A … よく当てはまる
 B … やや当てはまる
 C … あまり当てはまらない
 D … まったく当てはまらない

※前年比は肯定的評価の増減

		回答者 49名		単位 %		前年比単位		ポイント
		A	B	C	D	前年比		
1	本校の教育方針・目標は、生徒の実態に即しており適切である。	26.5	63.3	10.2	0.0	△ 6.1		
2	教育方針・目標が生徒、保護者に理解されている。	6.1	57.1	36.7	0.0	△ 4.1		
3	職員が教育方針・目標を理解し、生徒育成のために努力している。	30.6	53.1	16.3	0.0	△ 8.1		
4	円滑な学校運営をすすめるため、分掌、学年間や職員間の連絡、調整がよくとれている。	10.2	40.8	40.8	8.2	△ 6.1		
5	職員の意見が適切に反映されるよう、十分な話し合いを行っている。	12.2	57.1	22.4	8.2	△ 0.4		
6	職員の労働環境や心身の健康、セクハラ防止等について配慮されている。	14.3	55.1	22.4	8.2	10.2		
7	各教科で、生徒の実態に即した教材の精選や指導方法の工夫に努め、わかりやすい授業を実践している。	36.7	59.2	2.0	2.0	2.0		
8	職員は、生徒の立場に根ざした共感的理解に努め、能力や個性に応じた指導を心がけている。	32.7	53.1	14.3	0.0	△ 8.2		
9	生徒の努力や授業態度などを、適切に評価している。	40.8	51.0	8.2	0.0	△ 8.2		
10	生徒のルールやマナーを守る態度の育成に努め、特別な指導が必要なときに、迅速かつ適切な対応がとれる体制ができている。	28.6	57.1	14.3	0.0	△ 4.1		
11	人権や命の大切さを尊重する態度を養い、いじめやセクハラのない学校づくりに努めている。	32.7	59.2	8.2	0.0	2.0		
12	生徒が進路について考え、望ましい職業観や将来展望がもてるような、体系的な進路指導を行っている。	49.0	42.9	6.1	2.0	△ 2.1		
13	生徒の実態に即して、課外活動（生徒会行事や部活動など）の活性化に努めている。	20.4	55.1	20.4	4.1	△ 2.0		
14	生徒の実態に即した教育課程や年間行事が組まれている。	30.6	49.0	16.3	4.1	△ 8.2		
15	教室や図書室、コンピュータや視聴覚関連設備、運動施設など、学校教育に必要な施設・設備が整備されている。	6.1	40.8	34.7	18.4	4.1		
16	生徒の安全、衛生管理について、配慮している。	26.5	67.3	6.1	0.0	8.1		
17	職員の、自発的な教育活動や研修活動を促す環境がある。	12.2	55.1	26.5	6.1	16.3		
18	学校の情報を保護者や地域に知らせ、良好なコミュニケーションがとれるよう努めている。	8.2	71.4	18.4	2.0	△ 0.0		
19	生徒や保護者が安心して相談できる雰囲気づくりに努めている。	30.6	61.2	8.2	0.0	0.0		
20	楽しい学校生活を送っている生徒が多いと感じる。	18.4	67.3	14.3	0.0	2.0		

学校評価アンケート(職員)

■ A ■ B ■ C ■ D



令和5年度 鎌ヶ谷西高校アンケート(保護者)

A … よく当てはまる

B … やや当てはまる

C … あまり当てはまらない

D … まったく当てはまらない

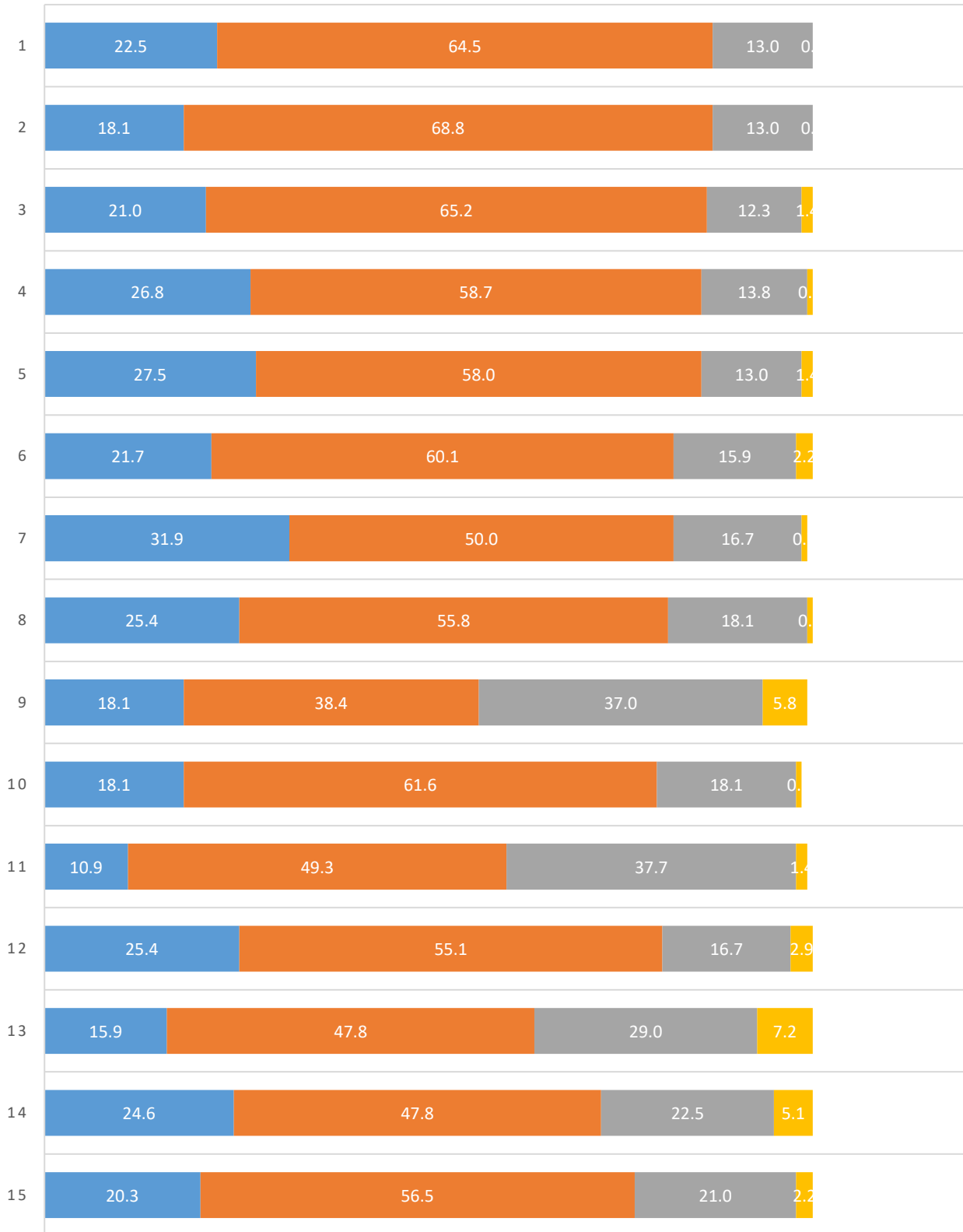
※前年比は肯定的評価の増減

回答者 138名 単位 % 前年比単位 ポイント

		A	B	C	D	前年比
1	本校の教育方針・教育目標は適切である。	22.5	64.5	13.0	0.0	△ 3.2
2	教育方針・教育目標に則って、学校は生徒育成のために努力している。	18.1	68.8	13.0	0.0	△ 4.4
3	教え方を工夫し、わかりやすい授業をおこなっている。	21.0	65.2	12.3	1.4	1.6
4	生徒をよく理解し、学校は能力や個性に応じた指導をしている。	26.8	58.7	13.8	0.7	4.5
5	生徒の努力や授業態度などを、学校は適切に評価している。	27.5	58.0	13.0	1.4	△ 2.2
6	社会のルールやマナー、人権、命の大切さを尊重する態度を育てようとしている。	21.7	60.1	15.9	2.2	△ 2.2
7	卒業後の進路について、学校は適切な指導をおこなっている。	31.9	50.0	16.7	0.7	△ 5.2
8	文化祭、体育祭などの、学校行事がさかんである。	25.4	55.8	18.1	0.7	8.2
9	部活動が活発におこなわれている。	18.1	38.4	37.0	5.8	△ 8.5
10	生徒の実態に即した教育課程や学校行事が組まれている。	18.1	61.6	18.1	0.7	△ 3.8
11	授業用の施設、設備など、学習環境が整備されている。	10.9	49.3	37.7	1.4	△ 6.1
12	生徒の安全や健康に関して、学校は適切な配慮をしている。	25.4	55.1	16.7	2.9	△ 7.4
13	学校は、学校の様子を保護者に知ってもらおうと努力している。	15.9	47.8	29.0	7.2	6.8
14	安心して学校に相談できる雰囲気がある。	24.6	47.8	22.5	5.1	4.4
15	楽しく学校生活を送っている生徒が多いと感じる。	20.3	56.5	21.0	2.2	△ 13.4

学校評価アンケート(保護者)

■ A ■ B ■ C ■ D



令和5年度 鎌ヶ谷西高校アンケート(生徒)

- A … よく当てはまる
 B … やや当てはまる
 C … あまり当てはまらない
 D … まったく当てはまらない

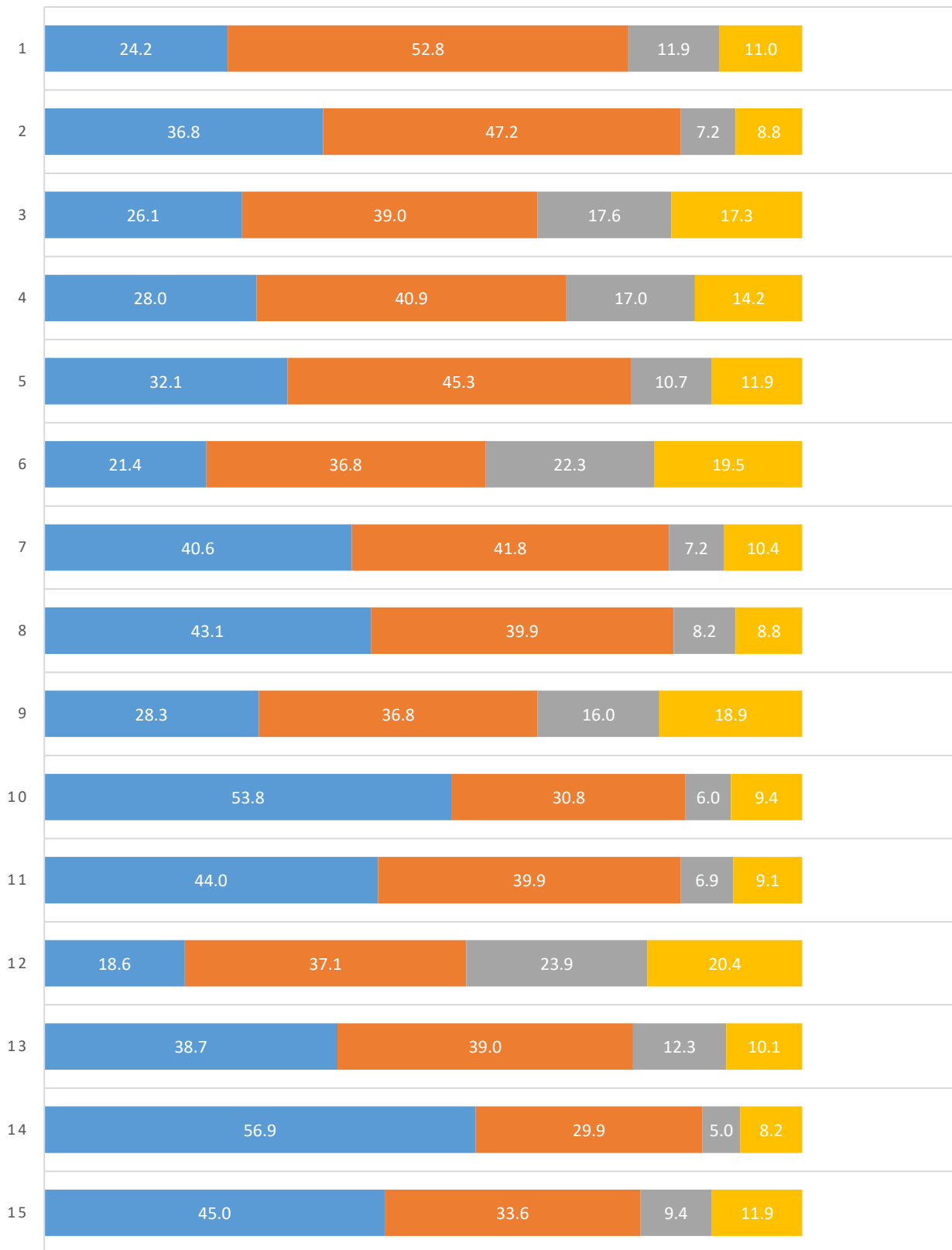
※前年比は肯定的評価の増減

回答者 318名 単位 % 前年比単位 ポイント

		A	B	C	D	前年比
1	授業はわかりやすく、充実している。	24.2	52.8	11.9	11.0	△ 6.4
2	先生方は、生徒の努力や授業態度を適切に評価してくれる。	36.8	47.2	7.2	8.8	△ 6.8
3	高校に入学して、学習意欲をもつことができた。	26.1	39.0	17.6	17.3	△ 6.6
4	生徒がよりよい学校生活を送るために、適切な生徒指導が行われている。	28.0	40.9	17.0	14.2	△ 10.5
5	学校は、社会のルールやマナー、命の大切さについて教えている。	32.1	45.3	10.7	11.9	△ 8.2
6	マナーがよく守られ、お互いに気持ちよく生活できる学校である。	21.4	36.8	22.3	19.5	△ 13.9
7	学校は、人権尊重やセクハラ防止に配慮している。	40.6	41.8	7.2	10.4	△ 7.8
8	一人一人に必要な進路情報が提供され、適切な進路指導が行われている。	43.1	39.9	8.2	8.8	△ 6.9
9	学校の部活動は充実している。	28.3	36.8	16.0	18.9	△ 6.7
10	文化祭、体育祭などの学校行事に楽しく参加している。	53.8	30.8	6.0	9.4	△ 3.8
11	学校は、生徒の安全や健康によく配慮している。	44.0	39.9	6.9	9.1	△ 6.2
12	校内は、清掃がゆき届いている。	18.6	37.1	23.9	20.4	△ 13.6
13	先生方は、親身になって相談にのってくれる。	38.7	39.0	12.3	10.1	△ 7.9
14	困ったときや悩んでいるときに、力になってくれる友人がいる。	56.9	29.9	5.0	8.2	△ 3.6
15	学校生活を楽しく送っている。	45.0	33.6	9.4	11.9	△ 7.7

学校評価アンケート(生徒)

■ A ■ B ■ C ■ D



令和5年度 鎌ヶ谷西高校アンケート(開かれた学校づくり委員会) 回答者数 8

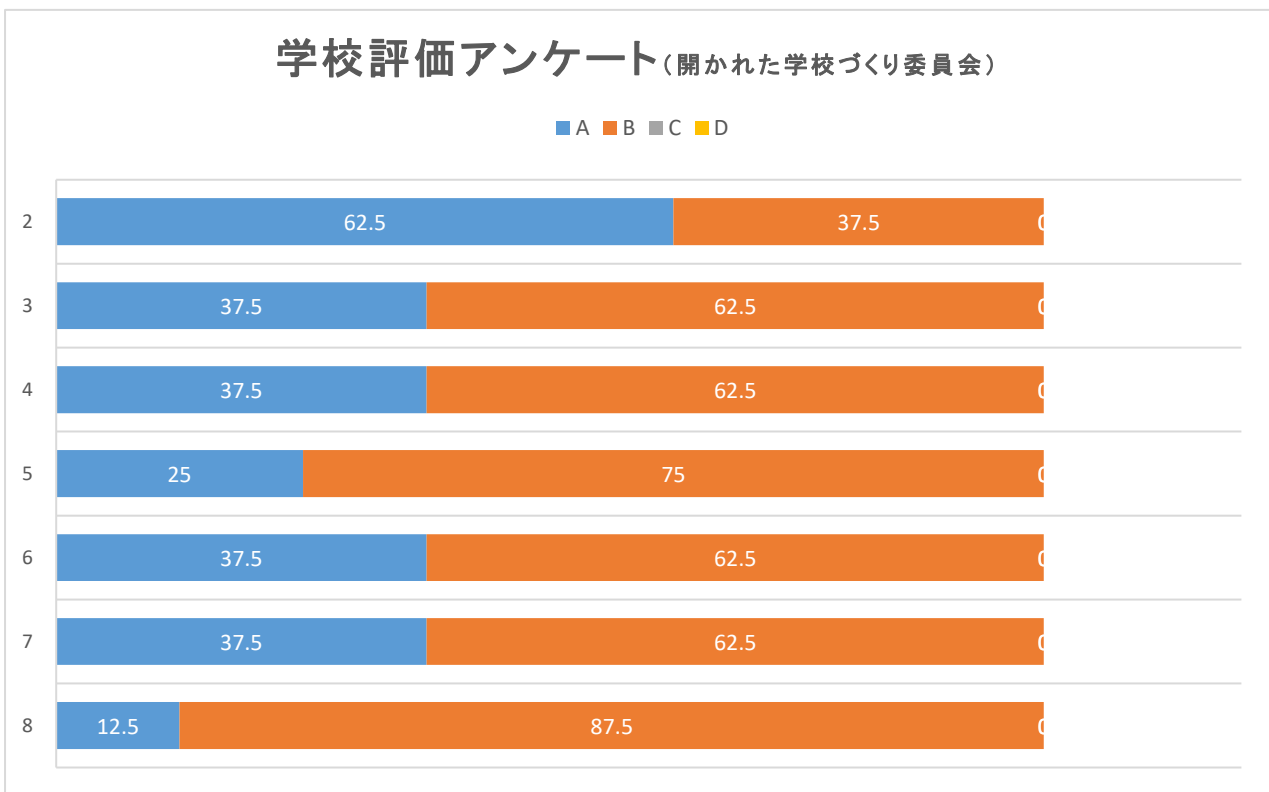
- A … とてもよく感じる
- B … 感じる
- C … あまり感じない
- D … まったく感じない

集計結果

1	鎌ヶ谷西高校の情報はどのようにお知りになりましたか。(複数回答可)	ホームページ		1名					
		学校案内		1名					
		ポスター		0名					
		学校行事など(来校されて)		3名					
		生徒、卒業生、保護者などから口コミ		2名					
		書籍、情報誌、広域広報など		0名					
		その他		2名					
		情報発信が十分でない		0名					
2	授業の教え方を工夫して、分かりやすい授業を行っている。	A	62.5%	B	37.5%	C	0%	D	0%
3	生徒が集中するように目配りして指導している。	A	37.5%	B	62.5%	C	0%	D	0%
4	学校は、学校の様子を地域に知ってもらおうと情報発信をしている。	A	37.5%	B	62.5%	C	0%	D	0%
5	生徒の実態に即した教育課程や校内外の年間行事が実施されている。	A	25%	B	75%	C	0%	D	0%
6	学校は社会のルールやマナー、命の大切さについて教えている。	A	37.5%	B	62.5%	C	0%	D	0%
7	充実した学校生活を送っている生徒が多いと感じる。	A	37.5%	B	62.5%	C	0%	D	0%
8	学校は掃除がいきとどき、環境が整っている。	A	37.5%	B	62.5%	C	0%	D	0%

- 進路指導等に関し、支援出来ることは支援したいと思っております。今後とも宜しくお願い致します。
- 文化祭に参加させていただきました。生徒が楽しそうに参加している様子、また来校者に対して優しく接している様子などから、温かい校風を感じることができました。本格的に動き出す保育コースにも期待しています。
- 今後も西高の特色や活動を地域にアピールしていただきたいと思います。
- 生徒の皆さんが楽しい高校生活を送って欲しい。
- アンケートの前年比が全体的に低下していることが気になりました。しかし、私が耳にする鎌西の生徒さんは、ボランティア活動や保育活動に熱心に取り組まれており、「温かく素直で気持ちの良い生徒さん」というものが多くありました。

- 鎌西さんの強みをより活かせる地域となるよう努めてまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。
- 本委員会委員の立場から申し上げます、地域における本校生徒さんの活躍の場を更に拡げて戴きたいし、拡げて差し上げたいと感じます。例えば、「第 36 回北部ふれあいまつり」(‘23.11.5.(日))では書道部員の作品が出展されておりましたが、他の部活動の生徒の成果発表があっても良いと考えます。あるいは、『蜂窩祭』文化祭の“お化け屋敷”など、地域の子供達も楽しめる催しを行なっては如何でしょうか。ただ、教職員のご負担を最小限に抑えて実施することが肝心で、地域住民と巧く協働する必要がありますが。”
- 保育コース等の特色の強化とアピール
- コロナも落ち着き、制服も変わり新しい鎌西の魅力をもう少し外部に知ってもらえるようになれば良いかな？部活動やボランティア活動沢山頑張っているのです。



学校評価アンケートを受けての反省と来年度の目標

1 学年

<反省点>

- ・自他の尊重が足りない生徒へのアプローチを続けたい。
- ・学習環境を整え、学習支援の工夫に力を注ぎたい。

<次年度への目標>

- ・自他の尊重ができる生徒の育成
- ・学習意欲の向上を図る
- ・心の成長とコミュニケーション能力の育成

<具体的な方策>

- ・全体指導とともに生徒個々に対して必要と思われる個別指導(学習面、生活面とも)を計画・実施する。
- ・修学旅行の準備、指導を通して集団における自己の行動を意識させ、マナーやルールを身につけさせる。(集団や周囲の迷惑になる行動に対しては、その都度注意、助言を与える)

2学年

<反省点>

- ・学年として、配布文書について、保護者や生徒への周知や情報発信の頻度や方法など、不足していた結果、上記のようなアンケート結果になった。

<次年度への目標>

- ・保護者への情報発信方法の変更もしくは、増加や発信頻度の見直しをする。

<具体的な方策>

- ・他校で実施している、ネットを使った方法を参考に、本校の環境で可能な方法を試みる。
- ・保護者に対して、短い期間での定期的な情報発信をする。(行事予定(進路関係も含む)・行事の報告・文書の配布・回収予定など)
- ・配布した文書については、別の手立てで保護者に伝える。

3学年

<反省点>

- ・生徒の回答の全ての項目で肯定的な評価がマイナスであるのは問題。特に、およそ2割の生徒が「先生方は、生徒の努力や授業態度を適切に評価してくれる」「先生方は、親身になって相談にのってくれる」について否定的な回答をしていることに対して力不足と危機感を感じる。
- ・9割の教員が「楽しい学校生活を送っている生徒が多いと感じる」に対して肯定的な回答をしているのに対して、2割の生徒が「学校生活を楽しく送っている」に対して否定的な回答をしており、生徒の実態を把握しきれていないことに不甲斐なさを感じる。

<次年度への目標>

- ・生徒が学校生活に意欲を持てるような環境を整える。

<具体的な方策>

- ・3年間で在籍異動生徒が多数であったのは、学校生活に目を向けさせることができなかったことが原因であると考え。上級生や卒業生の事例をもとに、3年間の学習や学校行事への取り組みによって生徒自身の成長にどのようにつながり、結果として高校卒業後の進路選択にどのようにつながっていくのかというビジョンを、入学当初から示しながら生徒を導いていく必要がある。

教務部

<反省点>

- ・授業をわかりやすくして、評価に対する説明が必要。
- ・相談の機会を増やして、相談も親身になって対応することが必要。
- ・授業にICTを取り入れることが必要。

<次年度への目標>

- ・授業改善や新たな授業の実践
- ・教育相談の充実

<具体的な方策>

- ・教育相談強化週間を設定し、生徒からの相談に丁寧に対応する。
- ・授業アンケートの結果やPDCAサイクル等を利用して授業改善を行う。
- ・タブレット端末を利用した授業を実践する。
- ・評価について生徒には十分説明をする。

生徒指導部

<反省点>

- ・マナーを教えている（教員 AB 8 5. 7% 保護者 AB 8 1. 8%）の回答に関わらず、生徒の「マナーが良く守られ、気持ち良く生活できている」（AB 5 8. 2%）の回答が低いことが気になる。

<次年度への目標>

- ・全教職員が共通理解の下、協力しあいながら生徒指導をおこなっていく。

<具体的な方策>

- ・異動されてきた教員へ共通認識を図る
- ・若手教員への指導
- ・自由記述の4「ツーブロック禁止の意図」とあるが禁止にしていない。生徒・保護者に正しく理解してもらえる取り組みが必要。

総務部

<反省点>

- ・保護者宛の配付文書が手元に届かない→マチコミメールにて『本日「・・・文書」を配付しました。お子さんに確認願います』等逐次送信する必要がある。また昨年度末より成績通知の郵送が無くなったことにより、更に配付文書が保護者に届かなくなったようである。
- ・マチコミメールでの周知は、前教頭は逐次行っていた。

<次年度への目標>

- ・校内行事の円滑な運営
- ・PTA、同窓会の活性化
- ・PTA 関東大会千葉大会第1分科会主催校としての円滑な業務遂行。

<具体的な方策>

- ・Pや同窓会とTの協働。その為には総務部員の適正な配置（各学年2名 計6名＋ 総務部長 合計7名）が必要。

進路指導部

<反省点>

- ・概ねA・Bの高評価を受けている事がわかった。生徒に比べて保護者の評価が低いことより、学校での進路指導が生徒に良く行われているという評価を受けているが、保護者への情報が少なかったといえる。生徒から保護者へ状況を伝えるよう指導を徹底することでAの割合が増えるのではないかと考える。生徒や保護者に理解される進路指導を目指していく。

<次年度への目標>

- ・求人票公開のデジタル化を本格化する上での就職指導の仕組みの見直しと、これに関わる業務改善

<具体的な方策>

- ・今年度は昨年に比べて就職希望者の割合が大きかった。次年度は求人票のweb公開を本格化していく。これらから就職講座での指導の在り方の見直し（2年次よりデジタル求人票の見方を指導）や個別指導の徹底をしていく事が肝要であると考え。求人票をデジタル化することで業務が膨大に増えているため、業務改善の必要がある。

管理厚生部

<反省点>

- ・安全・健康面への配慮について概ね良好であったが一部足りなかった。清掃について隅々までゆき届いていると言い切れなかった。

<次年度への目標>

- ・安全・健康面への配慮のさらなる充実。
- ・清掃が隅々までゆき届くようにする。

<具体的な方策>

- ・安全点検を受けてけがの恐れのある場所はできる限り早く改善に努める。
- ・清掃の方法を再考して少ない生徒数、少ない監督数でも最大限に隅々までゆき届くことができるようにする。

令和5年度 学校評価実施報告書

学校番号 46 学校名 千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 課程名 全日制の課程

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>①委員会の統合と業務内容の整理・分掌への移管を進行させた。業務が整理と効率化は分掌会議、各委員会、学年会議の活性化と意見集約の効率化から判断できる。また、Teamsの活用で資料提示の労力は軽減され、委員会と分掌業務に携わる時間は縮小されている。</p> <p>②HPの管理運営を教務部に移管し、学校の日常の情報を伝える更新頻度は10回以上増やすことができた。また、HPの構成の編集を進行させている。</p> <p>③委員会の職員配置と責任の明確化で、業務の効率化がある程度達成できた。</p> <p>④地域団体とのイベント参加は充実させることができた。地区の共同パトロール実施回数は昨年並みに行うことができ、地域とのコミュニケーションを維持できた。</p> <p>⑤校長、教頭、教務主任で100校の中学校訪問を行った。開かれた学校づくり委員会とミニ集会ではのべで5名以上参加者の増加があった。</p> <p>⑥グラウンドは少年サッカーチームに週2日、野球場も土・日に少年野球チームの試合等に開放している。</p> <p>⑦生徒アンケートは学期に1度、職員対象のアンケート調査は1度、校内研修は3回(県からの通知も含む)、外部講師による講演は行うことができなかった。</p>	<p>①委員会の統合と業務内容の整理・分掌への移管を次年度に向けて現在も進行させている。次年度の課題は、特別支援教育関係(合理的配慮申請関係)と衛生委員会の業務整理と効率化と活性化である。</p> <p>②HPの管理運営を充実させ、HPの構成整備と多くのページの更新回数を増やしていく。</p> <p>③委員会の統廃合、職員配置は職員数の減少から重要度を増してくるようになった。委員会のみではなく、分掌の統廃合も視野に入れる必要がある。</p> <p>④地域団体とのイベント参加は継続していきたいが、ボランティア要請があったすべてのイベントに参加できたわけではない。生徒、職員ともマンパワーが不足する中で地域イベントに参加する団体を増やしていく必要がある。</p> <p>⑤中学校訪問を行う職員、開かれた学校づくり委員会への参加職員、ミニ集会参加者の増加を図る。</p> <p>⑥来年度も学校行事や部活動に支障の出ない範囲で、開放を進めていく。</p> <p>⑦「自校からは不祥事を出さない」「いじめ・セクハラ」の根絶の徹底及び「生徒の自殺防止」を目指し、校内の研修体制、相談体制の強化を推進する。また、個人情報の管理意識や、職員の交通事故にも十分注意を払うよう、日常から注意喚起を行う。</p>
学習指導	<p>①生徒による授業評価アンケート及び学校評価アンケートを実施したが、授業の分かりやすさや充実度などで昨年度に比べ6.4ポイントも下落した。また、評価に対する生徒の満足度も6.8ポイント下落した。学習意欲に関する回答も6.8ポイント下落している。</p> <p>②ICTを利用した授業公開・校内研究授業は徐々に充実してきている。総合的な探求、進路行事でのICTの活用も行われ、その中で、整備が必要な点も認知された。</p> <p>③上記①で述べたように「生徒への共感的理解や能力・個性に応じた指導」への肯定的数値が低下した。生徒指導と学習指導を結び付ける意識の定着はまだ徹底されていない。校内研究授業は初任者、2年目職員、3年目職員で2回ずつ行っており、校内の授業研究の活性化につながっている。</p> <p>④課外学習(補習・公務員講座・資格取得のための補習)は積極的に行われており、生徒の進級、卒業、進路実現に大きく貢献している。</p> <p>⑤学習指導に対する保護者の満足度向上の達成状況は昨年度より平均して3ポイント増加している。</p>	<p>①授業評価アンケートの成果を厳粛に受け止め、授業の分かりやすさと評価の充実、生徒の共感的理解と指導を授業に組み込むことで、生徒の授業に対する肯定的評価と生徒の学習意欲に関するポイントの増加を図っていく。</p> <p>②分かりやすい授業のために、ICT利用を推進していく。</p> <p>③学校評価の授業に対する評価を職員で共有し、ICT利用も含め、研究授業や授業公開を推進していく。</p> <p>④課外学習(補習等)は積極的に行うことで、生徒の学習意欲の増進や進級、進路実現を実現していく一方で、職員の負担軽減を考えていかねばならない。</p> <p>⑤学校評価アンケートの回収率増加と分析の充実を図る必要がある。保護者の学習指導の満足度と生徒の満足度との乖離を解消する必要がある。</p>

生徒指導	<p>①学校評価アンケートにおける「生徒がより良い学校生活を送るための生徒指導が行われている」への肯定的数値は昨年度より 10.5 ポイント低下した。</p> <p>②学校評価アンケートにおける「社会のルールやマナーを指導している」の肯定的評価は 8.2 ポイント減少している。</p> <p>③個人面談の複数回実施は県からの通知もあり、年間行事予定を変更して 2 回以上実施することができた。いじめアンケートの学期ごとの実施とその内容からふだんの教育相談体制（SC、SSWの利用頻度を含む）が整備できていたと考えている。アンケートも関連項目で 2 ポイントの上昇がみられることから職員の意識も向上していると考えられる。</p>	<p>①②ポイントが昨年より低下しているとはいえ、マナーの指導では職員の肯定的評価が 85.7%、保護者が 81.8%である。その一方で、生徒の「生徒がより良い学校生活を送るための生徒指導が行われている」への肯定的評価が 58.2%であり、その整合性に分析が必要となっている。道徳教育も含めて、生徒に踏み込んだ生徒理解に基づく指導が必要と考えられる。</p> <p>③個人面談の回数を次年度は 3 回に増やす予定である。</p>
キャリア教育	<p>①職業観を育成するための職員による企業訪問件数は生徒の就職先を中心に 14 社となった。インターンシップ参加は 7 社 34 名であった。</p> <p>②生徒に適した進路説明会を 1 学年 3 回、2 学年 4 回、3 学年は分野別に 1 学期にほぼ毎週行った。いずれの説明会でも生徒は熱心に参加した。職員の専門学校などの進路研修は 2 回、保護者向けの進学費用も含めた説明会を 2 回開催している。</p> <p>③地域イベントには参加していないが進路指導部長とキャリアカウンセラーの相談を行った。</p> <p>④現役進路決定率 90.4%、就職希望者決定率 100%を達成できた。</p>	<p>①インターンシップは進路指導部の充実した指導のもとで、企業からも積極的な協賛を得られている。今後も継続していく。</p> <p>②今年度は教員向け研修会の充実が見られ、参加者も増加した。今後も継続していく。</p> <p>③特別支援教育と進路指導の関連付ける必要がある</p> <p>④来年度も同様の目標を設定していく。</p>
特色ある教育活動	<p>①学校評価アンケートで「職員が教育方針・目標を理解し、生徒育成のために努力している」等の関連項目で肯定的評価が 8 ポイント低下した。今年度、敬愛大学、千葉敬愛短期大学と高大連携を実施した。</p> <p>②ユネスコスクールとしてユニクロの協賛で「服のチカラ」プロジェクトでボランティア活動を行った。</p>	<p>①若手職員を中心に、分掌会議、学年会議において学校教育目標等の意味を共有できるように働きかけていく。</p> <p>②「服のチカラ」プロジェクトでは生徒が積極的に参加してくれているので、恒常的に活動できるように、組織的な位置づけの整備を図る。</p>

自己評価・学校関係者評価・今後の改善方策の公表について、時期や公表方法を明確に記入する。	アンケートの集計結果、自己評価、学校関係者評価、この報告書を2月中にHPで公開予定。
--	--

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善策)
学校経営	①特に論評なし。 ②HPの活用の充実 は頼もしく、 推進してほしい 。 ③先生方の負担が多そうなので、負担軽減に対する取り組みを続けてほしい。 ④⑤地域としても学校の活動に協力したいので積極的に相談してほしい。地域の行事に参加してくれてたいへんうれしく思う。新しい企画もあるので、協力してほしい。 ⑥地域行事での学校の使用も依頼したい。 ⑦言及なし。	①委員会と分掌組織の見直し、業務の整理と組織や会議の活性化を継続する。 ②HPの構成を整え、利用頻度を上げていく。 ③業務の効率化と組織機能の充実で、職員の負担軽減を目指す。 ④⑤地域行事への参加、また行事の学校開催など幅広く取り組んでいくことで、地域との連携を強化し、生徒の社会での有用感や自己肯定感をあげる機会を増やしていく。
学習指導	①先生方の授業はたいへん工夫されている。生徒も授業に前向きに取り組めているようで安心できた 。 ②ICTの活用は、分かりやすさにつながるので推進してほしい 。授業が工夫されていて、うらやましく思った。生徒と先生方の距離が近く、質問しやすそうであった。生徒一人一人への働きかけが丁寧であった。学びあいの姿勢が指導されていて素晴らしいと思った。 ③⑤こうした授業が学習意欲に結び付かないことが残念である。 ④論評なし	①研究授業の回数を確保し、授業改善を進めていく 。また、保護者と中学校の職員が授業を見学できる機会をつくっていく。 ②ICTの活用をあらゆる場面で進めていく 。 ③観点別評価の充実と積極運用で、生徒の自己肯定感を高め、学習意欲につなげていく 。 ④資格取得や成績に関わる補習は継続して行うことで、生徒の学校への信頼度を高め、学校生活や学習への意欲を高めていく。 ⑤シラバスや授業参観を通じ、生徒と保護者の授業への肯定的評価を同時に高めていく。
生徒指導	①②1年生と2年生で授業等でも様子が違っている。上級生になると落ち着くのか、指導の成果が出ているようで頼もしい。 ③生徒の自殺防止やメンタルヘルスの維持に期待している 。	①②いじめアンケートの頻度を増やし、生徒同士のコミュニケーション方法の指導や、生徒同士のトラブルへの迅速かつ積極的な介入によって、生徒が安心できる学校を実現する。 ③生徒との面談機会を増やし、生徒理解の機会を増やす。
キャリア教育	①④論評なし ②③進路指導の場面でぜひ協力したい 。	①インターンシップを今後も積極的に推進し、三か生徒を増やす 。 ②③進路指導部主催の行事や活動をHPで発信していく 。 ④来年度も同様の目標を維持していく。
特教色育あ活躍動	①「保育基礎コース」の宣伝をもっとたくさんしてほしい。 ②市の介護施設でのボランティアや「親子交流」の積極的な実施に感謝している。	①中学校訪問やHPで保育基礎コース設置の進捗状況を公表していく。 ②「親子交流」や地域の活動の積極的な参加を現状から少しでも増やしていく。

※アンケート結果を集計して公表することで、学校評価の結果を公表したとみなすことは適当ではない。